

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

ライティング事業部　ゼネラルライティング

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル　TEL (03) 3740-5156　FAX (03) 3740-5163　Rev:02

iW Scene Controller

アイダブリュー　シーンコントローラー

12NC:910503700189

工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

ユーザーガイド

取扱説明書

この度は iW Scene Controller をお買い上げいただき、誠に有難うございます。このユーザーガイドでは iW Scene Controller の操作方法および安全な使用方法についての重要事項を説明しています。iW Scene Controller を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこのユーザーガイドをお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

- 箱には以下のものが入っています。
- ・ iW Scene Controller　1 台
  - ・ 付属ケーブル（15m）、端子ブロック 2 個付属
  - ・ マイナスドライバー　1 本

1. はじめに

iW Scene Controller はフィリップスの白色ライト、IntelliWhite 製品専用の壁付けタイプのコントローラーです。  
iW Scene Controller は専用のパワー / データサプライ（以下 iW パワー / データサプライ）に接続して使用し、ライトの輝度調整と色温度調整（ウォームホワイトからクールホワイトまで）を行うことができます。操作はボタンを押すだけの簡単な操作で、輝度と色温度の調整をそれぞれ 7 段階、またマスタースイッチでライトの ON/OFF を行うことが可能です。

◆ 1-1　ゾーンコントロールについて  
iW Scene Controller を使用する IntelliWhite シリーズのライトでは、ゾーンごとに光を制御することが可能です。ここでいう ゾーン とは、各々の iW パワー / データサプライにあらかじめ設定しておく個別の番号のことで、同一の iW パワー / データサプライに接続されているライトは、全て同じゾーンに属することになります。  
※ 複数の iW パワー / データサプライに、同じゾーン番号を重複して設定することも可能です。

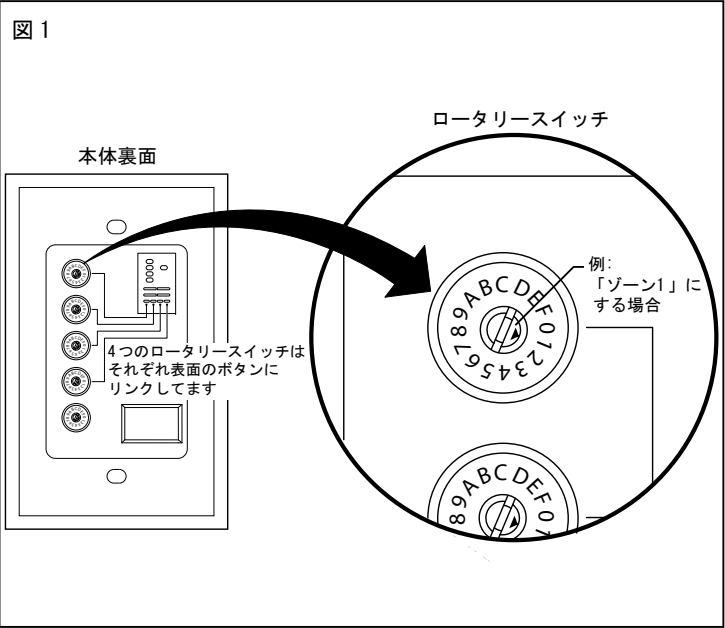
◆ 1-2　ゾーンの設定  
ゾーンの設定は、まず iW パワー / データサプライ本体のスイッチで行い、それに対応するゾーン番号を iW Scene Controller にも設定しておきます。ゾーンの種類の「1 ～ 9、A ～ F」の合計 1 5 ゾーンが使えます。1 台の iW Scene Controller で制御できるゾーン数は最大 4 つまでです。5 つ以上のゾーンをコントロールする場合は、ゾーン数に応じた台数の iW Scene Controller を使用してください。

- ◆ 1-3　iW Scene Controller 設置の手順
- ① iW Scene Controller にゾーンの設定を行います。
  - ② iW Scene Controller の配線を行います。
  - ③ iW Scene Controller の取り付けを行います。
  - ④ シーンの設定を行います。

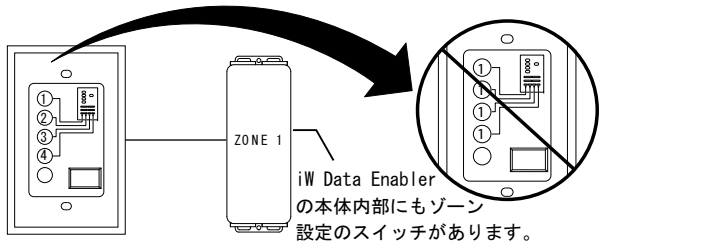
2. iW Scene Controller のゾーン設定

iW Scene Controller の設置に先立ち、ゾーンの設定を済ませておきます。ゾーンは後から変更することもできますが、その場合、電源を再度入れ直す必要があります。

◆ 2-1　ゾーンの設定方法  
iW Scene Controller 本体裏面のロータリースイッチに、iW パワー / データサプライと対応するゾーンを設定します。ロータリースイッチは合計 5 個ありますが、通常使用するスイッチは上から 4 個目までのスイッチとなります。各スイッチには初期設定として、上から順番に 1 ～ 4 のゾーン番号が設定されています。  
ゾーン番号を変更するには、付属のマイナスドライバーで番号を合わせてください。「1 ～ 9、A ～ F」の合計 1 5 種類の設定が可能です。「0」は通常使用しません。  
(図 1 参照)

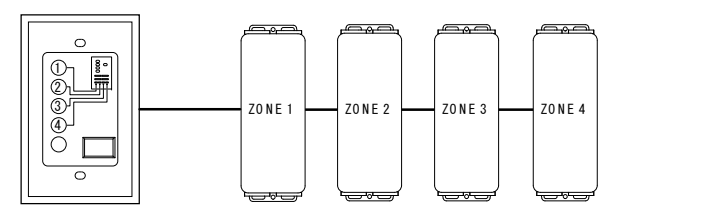


◆ 2-2　ゾーンの設定例  
下図は、iW パワー / データサプライに iW Data Enabler を用いる場合の例です。その他のパワー / データサプライ（iW PDS-150 や iW PDS-60）の場合も、考え方は同様です。  
例 1：  
ゾーン 1 に設定した iW Data Enabler 1 種類を使用する場合は、初期設定のまま使用します。

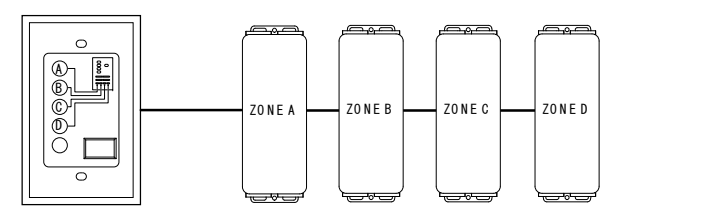


※ iW Scene Controller にはゾーン 1 を重複して設定しないでください。

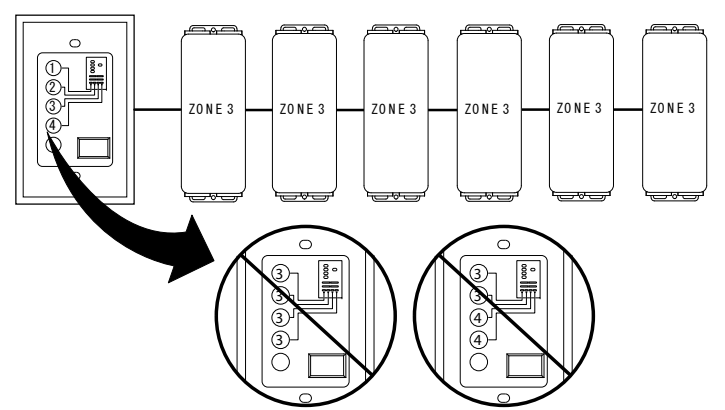
例 2：  
個別のゾーン（1 ～ 4）に設定した 4 種類の iW Data Enabler を使用する場合は、初期設定のまま使用します。



例 3：  
個別のゾーン A, B, C, D に設定した iW Data Enabler を使用する場合は、ゾーン番号を A, B, C, D に変更します。

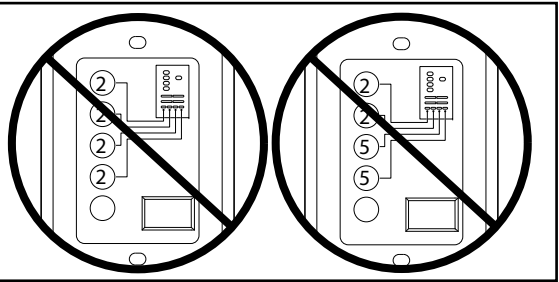


例 4：  
同一ゾーン番号（例ではゾーン 3）に設定した複数の iW Data Enabler を使用する場合は、いずれかひとつのスイッチを、その番号に合わせてください。



※ iW Scene Controller にはゾーン 3 を重複して設定しないでください。いずれかひとつのゾーンスイッチのみを 3 に合わせておきます。

**注 意**  
iW Scene Controller の 4 つのロータリースイッチには、必ず個別の異なるゾーン番号を設定してください。重複するゾーン番号があると、ライトが正しく作動しないことがあります。



3. iW Scene Controller の配線

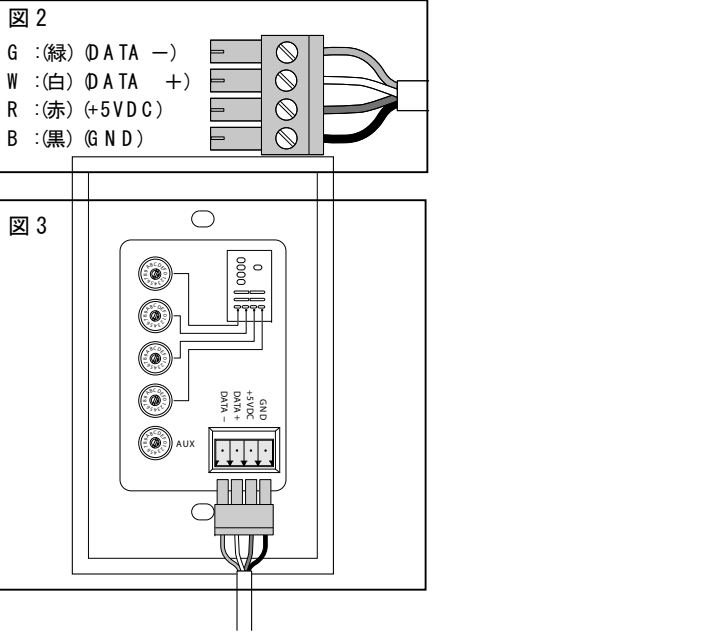
**注 意**  
器具の設置及び配線は、専門の電気工事業者が行ってください。

取付ボックスの設置と配線  
iW Scene Controller の取付けには、市販の一個ロスイッチボックスをご利用ください。

◆ 3-1　設置場所を決めます。このとき iW パワー / データサプライとの距離が 15 m 以内になるようにしてください。  
※付属ケーブル（15m）は、延長しないでください。

◆ 3-2　取付ボックスの押し抜き穴を開けてケーブルが通るようにしたあと、取付ボックスを設置面に固定します。

◆ 3-3　次に、付属ケーブル（15m）を配線します。付属ケーブル両端の端子ブロックを用い、iW Scene Controller の裏面と iW パワー / データサプライを接続してください。端子ブロックはあらかじめ付属ケーブルについていますが、端子ブロックを一旦取り外した場合は、必ずワイヤを元通りに正しく配線し直してください。  
(図 2、図 3 参照)  
※必要電力は DC5V ですが、付属ケーブルを通じ iW パワー / データサプライから供給されるため、別途 iW Scene Controller 用の電源を用意する必要はありません。



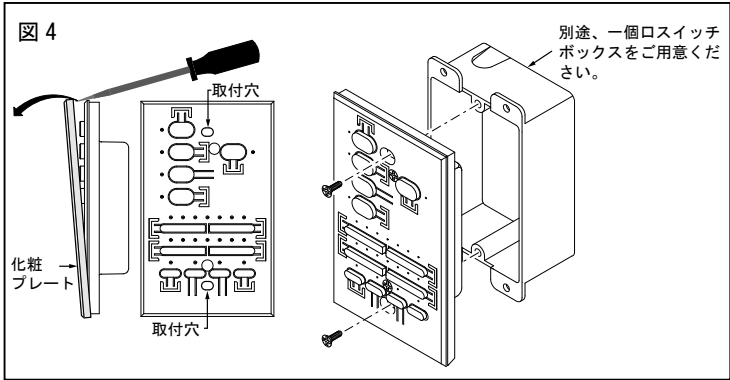
## 4. iW Scene Controller の取り付け

ゾーンの設定が済んでいることを確認してください。本体裏面にある4つのロータリースイッチが表面のゾーンボタンにリンクしていますので、◆2-2 の例を参考に、4つのスイッチに個別のゾーン番号を設定しておきます。

◆4-1 本体の化粧プレートを取り外します。付属のマイナスドライバーなどをプレートの上部に差し込み、そっと取り外してください。（図4参照）

◆4-2 付属のネジを使って、本体を取付ボックスに固定します。（図4参照）

◆4-3 最後に、化粧プレートを元どおり本体にはめ込みます。カチッと音がするよう確実にはめてください。

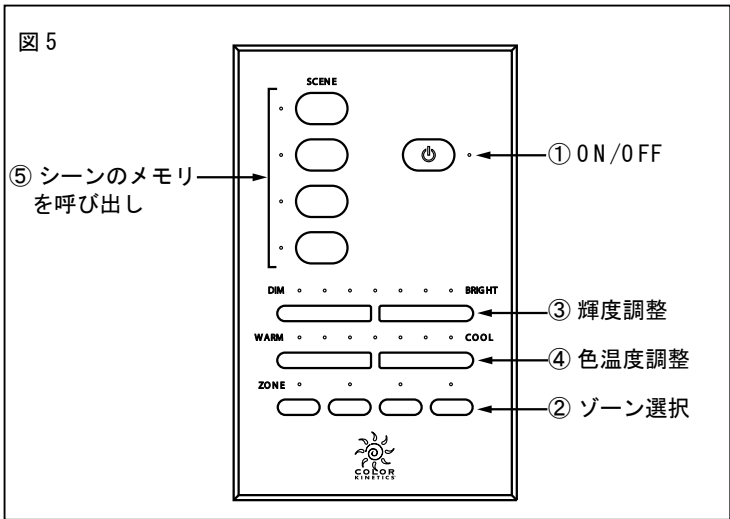


## 5. シーン設定の方法

ライトと iW パワー / データ サプライ、iW Scene Controller の設置、配線が完了したら、シーンの設定を行います。

### ◆5-1 各ボタンの機能

各ボタンの機能は、下図のとおりです。（図5参照）



#### ① ON/OFF

ライトの ON/OFF ボタンです。OFF 時（消灯）にサイドのインジケータランプが点灯します。

備考：OFF でライトは消灯しますが、未だ通電状態にあります。ライトの電源を完全に切るには、iW パワー / データ サプライの電源を切ってください。

#### ② ゾーン選択

コントロールするライトゾーンを指定するボタンです。押すとインジケータランプが点灯し、そのゾーンのライトのコントロールが有効になります。4つのボタンは、あらかじめ本体裏面に設定しておいたゾーン番号にリンクしています。

#### ③ 輝度調整

選択したゾーンの輝度調整をするボタンです。7段階で0～100%を調光します。（左端が0%、右端が100%）

#### ④ 色温度調整

選択したゾーンの色温度調整をするボタンです。ウォームからクールまで、色温度を7段階で調整します。（左端がウォーム100%、右端がクール100%）  
備考：色温度が高いほど、青みを帯びたクールな白色光となり、色温度が低いほど、オレンジ色を帯びたウォームな白色光となります。

#### ⑤ シーンのメモリと呼び出し

あらかじめつくっていったシーンを保存し、呼び出すためのボタンです。各ゾーンの輝度と色温度を調整した後、そのシーンをメモリーすることができます。各ボタンに1シーンずつメモリー可能です。（◆5-3 シーン設定の方法 参照）

### ◆5-2 ゾーンのコントロール方法

- ON/OFF ボタンを ON にします。（ON にすると、インジケータランプが消灯し、前回点灯していたシーンが再現されます。）
- ゾーン選択ボタンで、コントロールしたいゾーンを選びます。
- 輝度調整ボタンで、輝度を調整します。
- 色温度調整ボタンで、色温度を調整します。

### ◆5-3 シーン設定の方法

◆5-2 の要領で全てのゾーンの輝度と色温度を調整した後、その光をひとつのシーンとしてメモリーボタンに記憶させることが可能です。各ボタンに1シーンずつ記憶し、合計4つのシーンをメモリー可能です。

- ひとつめのシーンを設定します。各ゾーンの輝度と色温度を順番に調整し、希望のシーンをつくります。ひとつめのゾーンの調整を終えたら次のゾーン、というように4つのゾーン全ての光を順番に調整します。
- 次に、そのシーンをメモリーさせたいシーンボタンを長押しします（5秒）。メモリーが完了すると、サイドのインジケータランプが4つ同時に点滅します。
- ふたつめのシーンを設定します。各ゾーンの輝度と色温度を順番に調整し、希望のシーンをつくったら、2と同様の操作で、メモリーさせたいシーンボタンを5秒間長押しして、そのシーンをメモリーさせます。
- 同様にして、4つのシーンボタン全てにシーンをメモリーさせます。
- 設定したシーンを呼び出すには、シーンボタンを押してください。

## 6. 複数の iW Scene Controller の使用について

1台の iW Scene Controller で対応可能なゾーン数は4つまでです。4つ以上のゾーンを制御する場合は、複数の iW Scene Controller を使用してください。また、iW Translatorを使うと1台のiWパワー/データサプライに複数台の iW Scene Controller を連結させることも可能です。詳細は iW Translator の取扱説明書をご覧ください。

## 7. iW Scene Controller のお手入れ

お手入れは、水気を固く絞った柔らかい布などで表面を拭きとってください。iW Scene Controller の内部基板は防水仕様ではありませんので、液体スプレーなどのご利用は故障の原因となります。ご注意ください。

## 8. 定格・使用環境

#### ・定格

定格入力電圧	定格入力電流	定格消費電力
DC5V	0.05A	0.25W

#### ・使用環境

場所	温度	湿度
屋内	-5℃～35℃	0%～95% 結露なし

## 9. 安全上のご注意

### ◆器具のご使用について

#### 警 告

火災のおそれがあります

- 不安定な場所で使用しないでください。
- 器具を布・紙などでおおったりしないでください。また、カーテン・揮発物などの燃えやすいものに近づけないでください。



感電・火災のおそれがあります

- 器具および部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属や燃えやすい物など）を差し込まないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードに重いものをのせたり、電源具に近づけたりしないでください。



感電・火災のおそれがあります

- 異常時（煙が出たり、変なにおいがする等）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。



感電のおそれがあります

- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

#### 注 意

- 必ずメンテナンス可能な場所に設置してください。
- 器具を水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。
- 器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと、火災の原因となります。
- 屋内用器具ですが、風呂場等の湿気の多い場所では使用できません。また直射日光の当たる場所、屋外では使用しないでください。故障、事故の原因となります。
- 器具の表面に鋭利なものが当たらないよう、設置環境にご注意ください。
- 器具の保守・お手入れ等で、無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具の転倒や落下によるけがの原因となることがあります。
- 器具の着脱の際は、両手で静かに扱い、取付は確実に行ってください。落下によるけがの原因となることがあります。
- 安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に一度程度）清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。発火・火災の原因となることがあります。
- 当製品の使用可能条件の温度は-10℃～40℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、温度が35℃以上の高温下でご使用になりますと著しく寿命が短くなる原因となります。
- 当製品の保存可能条件の温度は-20℃～70℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、範囲外の温度での保存は短寿命または故障の原因となることがあります。

#### お願い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジンなどの揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いた柔らかい布で仕上げててください。
- お読みになりましたら、このユーザーガイドは、いつでも見られる場所に、大切に保管してください。ご不明点がありましたら、販売店にご相談ください。

## 10. 保証について

本製品の保障期間はご購入日より1年間となっております。保証期間中に、ユーザーガイド等の注意書きに従った正常な状態で本製品が故障した場合には、当社所定の方法により無料で修理または交換させていただきます。お買い上げの販売店もしくはフィリップスエレクトロニクスジャパンまでご連絡ください。（なお、特別に訪問を行った場合や引取サービスをご利用いただいた場合には、別途サービス料を申し受けます。）

保証期間中でも、次のような場合には修理・交換の対象となりませんのでご了承ください。

- ご使用上の誤り、または改造、誤接続による故障および損傷の場合。
- 火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷の場合。
- 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷の場合。
- お買い上げ後の輸送や移動および落下等、不適当なお取り扱いにより生じた故障および損傷の場合。